

丸協にゆーす

- 丸協トピック
 - 『内定者懇親会（大阪地区）開催』
 - 『トラックGメンと意見交換しました』
- 今、知っておきたい物流topics
 - 『ピッキング作業中の移動を
AIで効率化できるかも・・・』

『内定者懇親会（大阪地区）開催』

10/3、3年振りに大阪地区で内定者懇親会を開催致しました。今回参加の内定者は3名でした。

大学卒業に向けての卒業論文・研究などの取り組みについての話や、趣味の話など渡部社長、坂本も含めて同期になる内定者の皆さん同士で親睦を深めることができました。



内定者の皆さんは、卒業までに資格取得にチャレンジしたり、残りの大学生活も充実した日々を過ごされているようでした。4月以降皆さんと一緒にお仕事ができるのを楽しみにしたいと思います！

『トラックGメンと意見交換しました』



近畿運輸局

トラックGメン始動

～物流SOSを話せる環境へ～

『積込先、配達先でのお困りごと、トラックGメンに話してみませんか？』

「トラックGメン」は、適正な取引を推進する親いのある両主企業・元請事業者の協力を求めています。

頂いた情報は、貨物自動車運送事業法に基づく荷主企業・元請事業者への「働きかけ」「要請」等に活用し、荷主に対して配慮を求めます。

※荷主等への対応にあたり、情報提供者を特定する事項（社名など）は、伝えません。荷主等から情報提供元が特定されないよう配慮します。

【お電話での問い合わせはこちら】
近畿運輸局大阪運輸支局トラックGメン
072-822-6733

トラックGメン
ポータルサイト
※内容は順次更新中

裏面の様式に記入のうえ、FAXで大阪運輸支局まで情報提供頂くことも可能です。

10/19、『トラックGメン』が大阪本社に来社されました。トラックGメンの活動状況や物流現場について、またトラックGメンへの要望事項など様々意見交換をさせて頂きました。我々にとって、この「トラックGメン」が実際に動いている事自体が、改善交渉の一助になります。また当社と共通して、「トラックGメン」も物流業界をより良くしたいという熱い思いをお持ちなのがよくわかる 良い交流の機会となりました。

後日、トラックGメンより、この意見交換に対するコメントを頂戴しましたので、ご紹介いたします。

『本日はご多忙の中、トラックGメンの活動に関する意見交換の場をご提供いただきありがとうございました。日本の物流業界全般の問題、特に現場の課題に関するご意見を頂戴できたことは大変貴重かつ重要だと感じております。頂いたご意見はトラックGメンの今後の活動に活かして参ります。引き続きよろしく願いいたします！』

今、知っておきたい物流topics

ピッキング作業中の移動をAIで効率化できるかも・・・

WMSのなかに蓄積されていたデータをAIを使って活用することにより、倉庫内のピッキング作業を大きく効率化できるということが実験で証明されました。

このシステムは“ノーコードツール”なので、システム開発者に依頼しないでも、自社で開発したり、便利のように調整しながら使うことも簡単です。開発したのはMatrixFlow（マトリックスフロー、東京都台東区）社（<https://www.matrixflow.net/>）。AIを使ったシステムの開発・導入を手掛けるスタートアップです。実証実験は国家プロジェクトである戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）の「第2期スマート物流サービス・物流のビッグデータ利活用の研究開発」の一環で行われました。

過去の出荷状況をAIに学習させることにより、出荷状況を予測し、出荷状況に合わせた庫内配置の最適化ができるということです。最適な人員配置もできるよう開発中ということです。ロボット導入ばかりでなく、人間の作業も支援してくれるAI、物流現場でも活用が進むのではないのでしょうか。

製品化

① 出荷予測AI

- 過去の出荷実績から、今後の日々のお荷量を予測
- 2種類のアルゴリズムで、使うほどに予測精度向上

実証実験

② 庫内配置最適化AI

- モノの置き方を変えて出荷作業者の動きをシミュレーション
- 最短時間で出荷できる置き方・棚レイアウトを提案

開発中

③ 行動最適化AI

- 作業が同時終了するように出荷作業指示を配分、ナビゲート
- 適正人数の試算も可能

資料：同社インタビューより作成